

2026 World Brewers Cup
Official Rules and Regulations 和訳版
+
2026 Japan Brewers Cup
CB 独自 Rules and Regulations (第 23 項)

SCAJ コーヒーブリューワーズ委員会 作成
2026/07/06 更新版

目次

1. 参加条件	6
1.1 組織	6
1.2 権利関係	6
1.3 参加条件	6
1.3.1 競技団体資格	6
1.3.2 競技団体チャンピオンと代理	6
1.3.3 年齢条件	6
1.3.4 国籍	6
1.3.5 複数のパスポート	6
1.3.6 費用	7
1.4 コンフリクト	7
1.4.1 ジャッジ（審査員）	7
1.4.2 カリブレーション・バリスタ	7
1.4.3 その他のコンフリクト	7
1.5 ルール&レギュレーションおよびその施行	7
1.5.1 安全衛生条項	7
1.6 申し込み	8
1.6.1 競技者登録フォーム	8
1.6.2 後期競技団体大会登録	8
1.6.3 競技に関する質問	8
1.6.4 参加条件	8
2. 競技概要	8
3. 規格と定義	9
3.1 Open Service	9
3.2 Compulsory Service	9
3.3 コーヒー豆（Whole-bean Coffee）	10
3.4 飲料（The Beverage）	10
3.5 抽出用の水（Brew Water）	10
3.6 グライNDER（Grinder）	11
3.7 抽出器具（Brewing Device）	11
3.8 コーヒーの準備（Coffee Preparation）	11
3.9 サービス容器（Service Vessel）	11
4. 競技エリア（Competition Area）	12
4.1 Compulsory Service ステーション	12
4.2 Open Service ステーション	12
5. 機械、付属品、原材料	13
5.1 ホットウォーター（Hot Water）	13

5.2	水 (Water)	13
5.3	グラインダー (Grinder)	13
5.4	追加の電気機器 (Additional Electrical Equipment)	13
5.5	提供される設備および機器	13
5.6	競技者の器具および用品	14
6.	準備時間前の競技者説明	14
6.1	競技者オリエンテーションミーティング	14
6.2	通訳	15
6.3	準備練習室	15
6.4	Compulsory Service コーヒーと練習時間	15
6.4.1	Compulsory Service コーヒーの提供	15
6.4.2	練習時間	15
6.5	時間の厳守	15
6.6	ステーションメンテナンス	15
6.7	カート	15
7.	Round One 競技	15
7.1	概要	15
7.2	Open Service	16
7.2.1	セットアップ時間	16
7.2.2	競技時間の開始	16
7.2.3	競技時間	16
7.2.4	競技時間の終了	16
7.2.5	タイムペナルティ	17
7.2.6	Open Service に関する追加情報	17
8.	Semi-Finals Round	17
8.1	概要	17
8.2	Compulsory Service	17
8.2.1	練習/セットアップ時間	17
8.2.2	競技時間の開始	18
8.2.3	競技時間	18
8.2.4	競技時間の終了	18
8.2.5	タイムペナルティ	18
9.	Finals Round	18
9.1	概要	18
10.	技術的な問題	19
11.	アクセサリ (備品) を忘れた場合	19
12.	コーチング	19
13.	スコア記録	19

13.1	公式スコア記録	19
13.2	Round One スコア記録	19
13.2.1	スコアシートの内訳	19
13.2.2	Open Service スコア記録.....	20
13.2.3	Compulsory Service のスコア記録	20
13.3	Round One スコア	20
13.4	Semi-Finals Round スコア記録.....	20
13.5	Final Round スコア記録.....	20
13.6	同点の場合.....	20
14.	デブリーフィング	20
14.1	ブリューワーズカップチャンピオンにジャッジが求めるもの	21
15.	評価スケールとスコア記録	21
15.1	スコア記録の種類.....	21
15.2	評価 スケール	21
15.2.1	数値スコア (Coffee Evaluation)	21
15.2.2	数値スコア (Accuracy)	21
15.2.3	数値スコア (Impression)	22
15.2.4	数値スコア (Experience)	22
16.	カップ評価.....	22
16.1	カップスコア要素.....	22
16.1.1	Aroma (アロマ)	22
16.1.2	Flavor (フレーバー)	22
16.1.3	Aftertaste (アフターテイスト)	22
16.1.4	Acidity (アシディティ：酸味)	23
16.1.5	Sweetness (甘さ)	23
16.1.6	Mouthfeel (マウスフィール)	23
16.1.7	Overall (総合的な評価)	23
17.	コーヒー評価の手順	23
18.	Open Service 評価	24
18.1	Coffee Evaluation (コーヒー評価)	24
18.2	Barista Evaluation (バリスタ評価)	24
18.2.1	Accuracy of Coffee Descriptors (コーヒーの記述表現の的確さ) (Aroma、Flavor、Aftertaste、Acidity、Sweetness、Mouthfeel)	24
18.2.2	Attention to Details (細部へのこだわり)	24
18.2.3	Coffee and Brewing Knowledge (コーヒーの知識と器具の正しい使い方)	24
18.2.4	Presentation (プレゼンテーション)	24
19.	Compulsory コーヒーテイスティングの手順.....	25
20.	ヘッドジャッジの評価.....	25

20.1	Open Services プレゼンテーション ヘッドジャッジスコアシート項目	25
20.1.1	Overall Workflow (全体的なワークフロー)	25
20.1.2	Technical Uniformity (技術的な均一性)	25
20.2	Compulsory ヘッドジャッジスコアシート項目	25
20.2.1	Sensory Uniformity (味覚の均一性)	25
21.	WBrC における嗅願	25
21.1	WCC におけるジャッジ/スコア記録の問題	25
21.2	WCC におけるその他の問題	25
21.3	WCC における嗅願	26
21.4	WCC 競技戦略委員会による嗅願審査	26
22.	競技団体 イベント	26
22.1	競技会団体のための R&R 変更の強調点	26
22.2	競技団体イベントにおける嗅願	27
23.	日本大会に関するルール	28
23.1	参加資格	28
23.2	コンフリクト	28
23.3	参加申込みと参加規約、条件	28
23.4	日本大会 大会概要	28
23.5	グラインダーの持ち込みに関して	28
23.6	異議申し立て	29

1. 参加条件

1.1 組織

World Brewers Cup（以下 WBrC）および World Coffee Events（以下 WCE）のプログラムに準じた競技会です。WCE は Specialty Coffee Association の完全子会社です。

1.2 権利関係

WBrC に関連するすべての知的財産（本公式 R&R および競技形式を含む）は、WCE に帰属します。本書のいかなる部分も、WCE の明示的な許可なく使用または複製することを禁じます

1.3 参加条件

1.3.1 競技団体資格

WBrC は、WCE 公認の大会において、有資格の競技団体チャンピオンが参加できる大会です。WCE 公認大会は、WCE 公認競技団体によって運営されます。毎年、WCE 公認競技団体（Competition Body）から 1 名の競技者が参加することができます。WCE 公認競技団体になるための詳細については、下記に記載しています。
<https://wcc.coffee/competition-bodies>
どの年度においても、コーディネーターまたは競技団体の大会運営に携わる個人は出場できません。この規則の有効期間は、競技団体が競技会の企画を開始した時点から 1 年間とします。

1.3.2 競技団体チャンピオンと代理

- A. 競技団体チャンピオン（Competition Body Champion）とは、競技団体選手権で優勝した競技者を指します。この競技者は、その年の世界選手権に出場する権利、またはそれを翌年に延期する権利を獲得したことになります。競技者は、正当な理由がある場合に限り、立候補を翌年に延期することができます（「立候補延期（DC）ポリシー」を参照：<https://wcc.coffee/rules-regulations#deferred-candidacy>）。
- B. 競技団体チャンピオンが出場権利の延期申請に成功した場合、競技団体チャンピオンのタイトルは保持され、翌年の世界選手権に出場することができます。競技団体チャンピオンが権利を延期した場合、ライセンスを受けた競技団体は、その競技団体の競技会から、2 位の競技者から順に補欠の競技者を指名することができます。この場合、世界大会に出場する競技者は「競技団体代表（Competition Body 競技者）」のタイトルを持つこととなります。競技団体代表は出場延期の資格を有さず、競技団体チャンピオンのタイトルも保持しません。しかしながら、すべての競技団体代表は、コーヒーコミュニティを代表して世界大会に参加し、「世界チャンピオン」のタイトルを獲得する資格を有します。
- C. 競技団体チャンピオンの延期資格が認められず、世界大会に出場しないことを選択した場合、競技団体は代理の競技者を派遣することができます。
- D. 出場延期申請者を除き、世界大会に出場しないすべての競技団体チャンピオンは、いかなる理由であれそれを明確にするために、info@wcc.coffee を通じて自ら WCC チームにそれを通知する必要があります。出場延期申請者は、WCC チームに出場延期の意思を通知することができ、その際、関連する詳細を共有する必要があります。これは代理となる競技団体競技者が参加するために十分な時間を確保することに繋がりますが、通知は必須ではありません。代理（競技団体代表競技者）の要請は、大会前に競技団体から書面（info@wcc.coffee）によって提出され、マネージング・ディレクターの承認を得なければなりません。

1.3.3 年齢条件

競技者は、WCE 公認大会に出場する時点で 18 歳以上でなければなりません。

1.3.4 国籍

- A. 競技者は、開催地の有効なパスポートを所持しているか、または 24 ヶ月間の居住、雇用、学業を証明する書類を所持していなければなりません。
- B. 競技者は、WCE 競技年度につき 1 つの公認競技団体にのみ参加することができます。競技年度とは、競技者が出場資格を得られる世界大会と対応しています。（例えば、もし競技者が 2020 年世界大会の出場資格を得られる何らかの競技団体の大会に参加する場合、その競技者は当該競技団体の代表としてのみ、2020 年世界大会予選に参加しなければなりません）。

1.3.5 複数のパスポート

複数のパスポートを持つ場合、出場者は 1 つの競技団体を選択し、それぞれの公認競技団体大会を通じて出場資

格を得なければなりません。

1.3.6 費用

ライセンスを受けた競技団体は、WBrC に参加するために必要な、競技団体チャンピオンの合理的な旅費と宿泊費を支払う必要があります。上記に明示されていないその他の費用は競技者の自己負担とします。WCE はいかなる場合においても、競技者の費用について責任を負わないものとします。

1.4 コンフリクト

1.4.1 ジャッジ（審査員）

- A. 競技者は、その年の WBrC イベントが終了するまでは、自国を含むいかなる国の公認 WBrC 競技会（世界、競技団体、地域）においてもジャッジを務めることはできません。ジャッジは、その年の WBrC イベントが終了するまでは、自国を含むいかなる国の WBrC 公認競技会（世界、競技団体、地域）にも出場することはできません。
- B. WBrC ジャッジは、一つの WBrC イベントにおいてコーチをしながらジャッジを行ってはなりません。登録されたジャッジが、何らかの立場（コーチ、サポーター、コンサルタントのいずれか）で競技者にコーチングやフィードバックを行った場合、競技会前およびカリブレーション中にそのコンフリクトがあること申告しなければなりません。コンフリクトがあることを申告しなかった場合、その競技者は失格となる場合があります。競技会イベントが開始した時点、またはジャッジがカリブレーションを開始した時点（どちらか早い方）から、競技会期間中、ジャッジと競技者の間でいかなる形のコミュニケーションや相談も行うことはできません。競技会中にこれに従わない場合、競技者は失格となり、ジャッジは競技のジャッジから外されます。
- C. 競技者は、所属する競技団体の競技会において、ジャッジを選出したり推薦したりすることはできません。

1.4.2 カリブレーション・バリスタ

- A. 本大会のジャッジ・カリブレーションにカリブレーション・バリスタとして参加したバリスタは、大会年度が終了するまで公認大会に出場することはできません。これは世界大会だけでなく、競技団体 WCE 公認大会にも適用されます。
- B. 競技者は、同じ競技年度の同大会に参加しない場合、カリブレーション・バリスタを務めることができます。さらに、競技者は、所属する競技団体の公認大会で世界大会出場資格を得られなかった場合、同じ競技年度の世界大会でカリブレーション・バリスタを務めることができます。
- C. 競技年度とは、競技団体大会が競技者に出場資格を与える世界大会と対応しています。

正しい例：ある競技者が 2021 年世界大会のカリブレーション・バリスタとして活動したとして、その競技者は、2022 年世界大会の出場資格を与える競技団体大会に出場することができる。

誤った例：ある競技者が 2021 年公認競技団体大会（たとえ自国でない国であっても）でカリブレーション・バリスタを務め、2021 年世界大会で同じ競技会に出場する。

1.4.3 その他のコンフリクト

コンフリクトの可能性がある場合、競技者、ジャッジ、および/または、大会主催者は、できるだけ早い機会、少なくとも競技会開始前に申告しなければなりません。

公認イベント開催前にコンフリクトの可能性を申告しなかった場合、個人はイベントから失格となり、あるいは WCE は本ガイドラインに従わないイベントとその結果に対する公認を取り消す可能性があります。コンフリクトに関する質問、または上記ポリシーの明確化については、info@wcc.coffee に問い合わせてください。

1.5 ルール&レギュレーションおよびその施行

WBrC は、大会期間中、本ルール&レギュレーション（以下 R&R）を採用します。競技者が本 R&R に 1 つ以上違反した場合、本 R&R が特定の実施または結果を指定している場合を除き、自動的に失格となることがあります。もし、ジャッジまたは大会主催者が、本ルールに関して 1 つ以上の違反を犯した場合、競技者は、「ワールド・ブリュワーズ・カップ・チャンピオンシップにおける異議申し立て」または「競技団体イベントにおける異議申し立て」に詳述されているプロセスに従って、異議申し立てを提出することができます。

1.5.1 安全衛生条項

すべての規約は、現地および会場の安全衛生要件やガイドラインに基づいて変更される場合があります。WCE は、大会前に E メールにて R&R の変更を通知します。これらの変更には、テーブルサイズやレイアウトの変更、提供される器やカップの材質、競技者の準備室や練習室でのコーチやヘルパーの制限、マスクやグローブの着用

義務、消毒のスケジュール変更などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

1.6 申し込み

1.6.1 競技者登録フォーム

競技者は、WBrC 競技者登録用紙に記入しなければなりません。この用紙は、WCC 大会の 6 週間前までに、E メールで競技団体チャンピオンに直接送られます。このフォームには、必要な有効なパスポートまたはその他の証明書（「国籍」セクションに記載）のスキャンコピーをアップロードするためのスペースが含まれています。承認された競技団体チャンピオンには、すべての必要な登録書類を受け取ってから約 2 週間後に E メールで確認が送られます。競技者登録に関する問い合わせは、info@wcc.coffee に送付してください。

1.6.2 後期競技団体大会登録

WBrC イベントの 6 週間前以降に行われた大会の競技団体チャンピオンは、競技団体イベント終了後 5 日以内にすべての登録資料を提出しなければなりません。これらの基準を満たさない場合、参加を拒否される可能性があります。

1.6.3 競技に関する質問

すべての競技者は、例外なく現行の WBrC R&R とスコアシートを読み、理解する責任を負います。WBrC の文書はすべて <https://wcc.coffee/rules-regulations> で入手可能です。競技者は、WBrC に到着する前に質問をすることが推奨されます。もし R&R の意図について何らかの不明な点がある場合、競技者は WBrC の開始前に compinfo@wcc.coffee へ問合せ、R&R 委員会にその解釈を確認する責任を負っています。競技者には、競技開始前に行われる競技者向け公式ミーティングで質問を行う機会も与えられます。

1.6.4 参加条件

競技者と WBrC チャンピオンは、WBrC イベントのスポークスパーソンであり、スペシャルティコーヒー業界のロールモデルであることが期待されます。：

- A. WCE、その関係者、代理人、および代表者に対し、マーケティングのプロモーションを含む（ただしこれらに限定されない）あらゆる事業目的において、競技者の氏名、画像または肖像を、形式を問わず無償で使用することを許諾すること。
- B. WCC のウェブサイトに掲載されている「競技者行動規範」を読み、遵守すること。
- C. WCC のウェブサイトに掲載されている「チャンピオン行動規範」を読み、遵守すること。

2. 競技概要

- A. WBrC は競技者の数によって 2 ラウンドまたは 3 ラウンドに分けられます。
- B. 競技者数が 38 名までの場合、Round1、Semi Final、Final Round の 3 ラウンドが行われます。Round1 は "Open Service" と呼ばれる 1 つのコンポーネントで構成されます。Semi Final Round は "Compulsory Service" と呼ばれる 1 つのコンポーネントで構成されます。Final Round は、1 人の競技者につき 1 つの Open Service プレゼンテーションと 1 つの Compulsory Service で構成されます。
- C. 競技者数が 38 名を超える場合は、Round1 と Final Round の 2 ラウンドが行われます。Round1 は、"Open Service" と呼ばれる 1 つのコンポーネントで構成されます。Final Round は、競技者 1 人につき 1 つの Open Service の発表と 1 つの Compulsory Service の発表で構成されます。
- D. ラウンド構成は WBrC 開始の 8 週間前に決定されます。
- E. 各競技サービスにおいて、競技者は 3 人のセンサリージャッジによって評価されます。さらに、ヘッドジャッジが立ち会います。Compulsory Round では、ヘッドジャッジは提供されたカップからテイスティングを行うか、地域の衛生安全上の制約がある場合は、カップからサンプルを採取します。さらに、ヘッドジャッジは Compulsory Service 中に提供されたカップの味覚の均一性を評価します。Open Service では、ヘッドジャッジはステージ上で提供されるカップのテイスティングを行いません。ヘッドジャッジは、Open Service における全体的なワークフローと技術的な均一性を評価します。これらの項目は最終得点にカウントされます。バックステージでのジャッジデリバレーションのあいだ、ヘッドジャッジはデリバレーションの進行の助けとなるよう、提供されたカップのコーヒーを試飲することがあります。
- F. 各 Service において、競技者は 3 種類の飲料を個別に準備し、各センサリージャッジに 1 杯ずつ提供します。
- G. 競技者は、本 R&R の定義（以下の関連セクションを参照）に適合している限り、自分の選んだ好きな抽出器具のセットを使用することができます。
- H. Compulsory Service では、サービスに先立ってサービスの準備を行うため、競技者に競技エリアをセットア

ップする 8 分間のセットアップ時間が与えられます。Open Service では、競技者に 8 分間のセットアップ時間が与えられます。

- I. Compulsory Service において、競技者は 7 分間の競技時間内に、プレゼンテーションやデモンストレーションなしに飲料を準備し提供します。競技者が使用できるのは、ブリュワーズ・カップ競技会から提供されるコーヒー豆 (Whole-bean Coffee) のみに限定されます。
- J. Open Service において、競技者は好きなコーヒー豆を使用することができ、競技時間の 10 分間で飲料を準備し、付随するプレゼンテーションとともに提供します。
- K. 各競技 Service 内の 3 つの飲料は、すべて同じコーヒー豆を使用して準備されなければなりません。
- L. 競技者は両 Round において、同じ Open Service コーヒーを使用するか、自分が選択した別のコーヒーを使用するかを、制限なく選択できます。
- M. 競技者は競技時間中、好きなだけ飲料を作ることができます。ジャッジに提供された飲料のみが評価されます。
- N. 競技者には、Compulsory Service と Open Service の発表の間に、次のサービスの準備や物品をセットし直すために短時間しか与えられない場合があります。
- O. WBrC は、その裁量により、1 日に複数の競技 Round を開催することもできますし (例えば、Semi Final と Final を同日に開催する)、同じ Round を複数の日に分けて開催することもできます (例えば、Round1 を 2 日に分けて開催する)。WBrC はその裁量により、Round1 でパフォーマンスを重複した時間に行うこともできます。
- P. WBrC のジャッジは、ジャッジ・オペレーション・リード (JOL) チームによって指揮されます。JOL チームは、ジャッジのトレーニングと現場でのジャッジの後方支援を行います。ジャッジ・オペレーション・リードは、すべてのジャッジがカリブレートされ、能力があり、最新のルール&レギュレーションに精通していることを確認します。また、コンフリクトや問題を回避するために、大会の関係者名簿を作成します。この役割は主に管理、サポート、フィードバックに重点を置きます。この役割の優先順位は、積極的に競技会でジャッジを行うことではなく、したがって JOL チームは、やむを得ない場合 (例：ジャッジの不足、現ジャッジのコンフリクト、緊急事態など) を除いて、自分自身をジャッジに登録すべきではありません。

3. 規格と定義

3.1 Open Service

- A. Open Service は、ブリュワーズカップ競技の 2 種類のコーヒーサービスのうちの 1 つで、競技の Round1 と Final Round で行われます。
- B. 競技者は、8 分間の準備時間と 10 分間の競技時間を与えられ、3 人のセンサリージャッジに対して、それぞれ個別に淹れた 3 杯のコーヒーをプレゼンテーションし、準備し、提供します。
- C. 競技者は、自分で用意したコーヒー豆を使用し、コーヒー体験を向上させるプレゼンテーションとともに、ジャッジに飲料を提供します。
- D. 競技者は、WBrC のジャッジプロトコル (下記関連セクション参照) に従い、センサリー評価とプレゼンテーション評価によって評価されます。

3.2 Compulsory Service

- A. Compulsory Service は、ブリュワーズカップにおいて、Semi Final Round または Final Round で行われる 2 種類のコーヒーサービスのうちの 1 つです。
- B. 競技者には 8 分間の準備時間と 7 分間の競技時間を与えられ、それぞれ個別に抽出した 3 杯のコーヒーを、3 人のジャッジに対して準備し、提供します。
- C. Compulsory Service において、すべての競技者は、ブリュワーズ・カップから提供される同じコーヒー豆、同じグラインダー、同じ水、そして同じ規格の容器を使用します。各 Semi-Finalist の公式練習時間直前に 350g のコーヒー豆が 1 袋提供されます。
- D. ステージマネージャーの指示に従い、競技者は競技時間が始まったらコーヒーを準備し、提供します。競技時間終了後、競技者はコーヒー準備するために使用したケトルから主催者が用意したカップに約 100ml の水を注ぎます。競技者は、ヘッドジャッジがコーヒーと水の両方を試飲するまで、自分のステーション (ブリュワーとケトルを含む) を清掃するのを待ちます。
- E. WBrC のジャッジプロトコル (下記関連セクション参照) に従い、センサリー評価のみによって評価されません。
- F. Compulsory Service では、付随情報 (視覚的、言語的、感覚的など) は評価されないため、提示すべきではありません。
- G. 競技者は、各自の手書きのメモ用具 (ノート、紙、ペンなど) を持ち込むことができます。個人的なメモや

手書きのメモは、紙の形式で使用できます。聴覚保護具（イヤーマフ、耳栓など）は、デジタル機器に接続したり、他者と通信したりする機能がない場合に限り使用できます。ストップウォッチや懐中電灯は、単一用途のものである場合に限り使用できます。スマートデバイスは、統括ヘッドジャッジおよび／またはステージマネージャーの裁量により、フライトモード／機内モードの状態で使用を認められる場合があります。競技者は、Compulsory Service の開始前に、（フライトモード／機内モードで）使用するすべてのスマートデバイスおよび電子機器をステージマネージャーに通知しなければなりません。Compulsory Service に関連するすべての予定された活動中に、スマートデバイスを使用して他者と通信した場合、失格となります。

3.3 コーヒー豆 (Whole-bean Coffee)

- A. コーヒー豆とは、コフィア属の植物の果実の種子を焙煎した集積物です。
- B. 本大会の目的のために、コーヒーが「生豆」の段階、すなわちコフィア属の種子が収穫後の工程の一部として乾燥され、果皮の層がすべて取り除かれた状態になった後は、いかなる種類の添加物も加えてはなりません。これには、芳香物質、調味料、香料、液体、粉などに触れることも含まれます。
- C. 競技者は、観客向けの一括抽出用、もしくはワールド・ブリュワーズ・カップのブリュー・バーでの抽出・提供用として、自身のプレゼンテーションで使用すると同じコーヒー豆を最低 2.0kg、大会主催者に提供するよう要請される場合があります。
- D. 支給される Compulsory Service 用のコーヒーは、ミディアムからミディアムライトに焙煎された、フルウォッシュドのスペシャルティグレードコーヒー豆で、大会日の 7 日前までに、Baked や Burnt といった大きな焙煎欠点のないよう焙煎されたものでなければなりません。複数の焙煎バッチが提供される場合、バッチには固有のラベルが貼られるか、バッチが完全にブレンドされます。提供されるコーヒーはすべて同一のもので、個別に梱包・密封されます。
- E. Compulsory Service 用のコーヒーの情報は、Semi Final Round が終了するまで公開されません。Compulsory Service 用のコーヒースポンサーは、WBrC との間で機密保持契約を結びます。

3.4 飲料 (The Beverage)

- A. 飲料は、溶媒として熱湯を使用し、コーヒー豆の粒子から抽出されたものでなければなりません。コーヒー豆、抽出用水、抽出器具、サービス容器の定義に含まれるもの以外は、いかなる添加物も認められません。濃度を変えるために、提供前に飲料に水を追加（「バイパス」）しても構いません。
- B. 飲料は、2.00%以下または 20,000ppm 以下の総溶解固形分含量を有することができます。これは、飲料を一般に「フィルターコーヒー」と呼ばれる領域に限定するためであり、エスプレッソや他のカテゴリーのコーヒー抽出飲料とは異なります。
- C. 競技者は 3 種類のホットコーヒー飲料を準備し、3 人のセンサリージャッジに各 1 杯ずつ提供します。
- D. Open Service では、3 種類の飲料はそれぞれ 120ml 以上でなければなりません。提供された飲料が 120ml 未満であることが判明した場合、その飲料は「提供されていない」とみなされスコア記録されませんが、競技者のプレゼンテーションはスコア記録されます。Compulsory Service の場合、3 種類の飲料はそれぞれ 180ml 以上でなければなりません。提供された飲料が 180ml 未満であることが判明した場合、その飲料は「提供されていない」とみなされ、スコア記録されません。
- E. コーヒーの準備中に生成される飲料の全量を提供する必要はありません。ただし、各センサリージャッジが評価を行う最終的なサービス容器の中には、Open Service では少なくとも 120ml、Compulsory Service では少なくとも 180ml の飲料が最終的に提供されなければなりません。

3.5 抽出用の水 (Brew Water)

- A. 競技者は、Compulsory Service では大会から支給される水を使用しなければなりません。Open Service では自身で準備した水を使用することができます。
- B. 支給される水は、以下の「水」の項目に定める許容範囲内に調整されます。
- C. 競技者は、自身の競技時間が始まる直前に、その水に清潔な飲料水にはない風味や特徴がないことを確認するためヘッドジャッジが常温および加温した水を試飲することに留意しなければなりません。Open Service で自身の用意した水を使用する予定の競技者は、競技前にイベントマネージャーおよび／またはステージマネージャーに通知しなければなりません。WBrC は、成分および添加物のラボ分析のために、競技者の水のサンプルを要求する場合があります。
- D. 支給される水は、室温のもの 96.0~98.5 に加熱したものの両方があります。
- E. 競技者が Open Service に自身の用意した水を使用することを選択した場合、希望する温度まで水を温めるための機器も自身で用意しなければなりません。そのような機器に供給される電力は、大会が提供するものに限られます（「追加電気機器」の項を参照のこと）。

3.6 グライNDER (Grinder)

- A. グライNDERとは、コーヒーの粉碎に直接関係するもの（摩擦、熱など）を除き、コーヒーの化学的性質を変化させることなく、またコーヒーにいかなる添加物を加えることもない、コーヒー豆を物理的に小さな粒子へと粉碎する器具です。
- B. 競技エリア内および競技者の競技時間中、競技者は支給されたスポンサーグライNDER以外のグライNDERを使用してはなりません。

3.7 抽出器具 (Brewing Device)

- A. 抽出器具とは、競技者が飲料抽出中に使用し、飲料抽出に関与するあらゆる物品を指します。
- B. 抽出器具は、本質的に「手動」でなければならず、以下の例外を除き、補助的な力（電気など）を動力源とする機械的な動作を含むことも、伴うこともできません：
 - i. 競技者の手による動作(例：手および/または腕による動作)、重力による動作、またはコーヒーを淹れること自体によって生じる動作(例：真空抽出機における圧力、バランス抽出機における動作)による機械的な動作は認められます。
 - ii. 熱源（電気、磁気、液体燃料）は、水またはコーヒー飲料を温めるために使用され、追加的な機構を動かすために使用されない場合に限り、認められます。
 - iii. 競技者に抽出水を供給する機械や機構は認められますが、自動および/または分注機構(例えば、特定の量の水を分注するようにプログラムされた機械)を含む場合は、コーヒーに直接使用することはできません。例えば、自動給水機は注水容器に注水することはできますが、コーヒーに直接注水することはできません。
- C. 競技者は、各自の抽出器具を使用しなければなりません。スポンサーは競技者が使用できるように特定の抽出器具を支給することがありますが、競技者は最終的に自分自身で抽出器具（該当する場合は濾過メディアを含む）を用意する責任があります。WBrC は、支給された抽出器具の操作上あるいは構造上の完全性については責任を負いかねます。それらの器具を使用する競技者は、十分なテストと点検を行ってください。
- D. 競技者は、決められた時間内に必要な3杯の抽出を行うために、抽出器具をいくつ使っても構いません。
- E. 抽出器具は、飲料にいかなる添加物も加えてはなりません。

3.8 コーヒーの準備 (Coffee Preparation)

- A. 各ジャッジのコーヒーの準備は、各ジャッジへ個別かつ独立した準備で構成されるものとします。
- B. 「個別かつ独立した準備」とは、個別の分量のコーヒーと個別の分量の水から直接得られた抽出を指します。したがって、競技者は1つの個別かつ独立した準備から2名以上の審査員に提供することはできません（例：1リットルのフレンチプレスを1回準備し、それを3つのカップに注いで審査員に提供することは認められません。許容される提供方法は、3つのフレンチプレスをそれぞれ個別に準備するか、1つのフレンチプレスを3回個別に準備する方法です。）
- C. 「抽出時間」とは、抽出水とコーヒー粉が最初に接触した瞬間から、競技者が抽出を止めた瞬間までの時間を指します。抽出された飲料が完全にコーヒーベッドから分離した時点（コーヒーの粉の中に残っている水は、「抽出された飲料」の一部とはみなされません）、またはバリスタが抽出された飲料のサービス容器への流出を止めた時点のいずれか早い時点で、抽出は停止します。フィルターをプレウェットまたはリンスするために使用される水は、「抽出時間」において「抽出水」とはみなされません。コーヒーを挽く前に水でスプレーすることは認められます。ただし、ルール 5.2 で定義されている通り、水でのみ行うことができます。Compulsory Round では、支給された水のみを使用することができます。Open Service 中、ヘッドジャッジは使用した水の試飲を要求することができます。
- D. 両 Round とも、競技時間の開始前に抽出時間が開始された場合、その飲料は失格となります。

3.9 サービス容器 (Service Vessel)

- A. サービス容器とは、カップやサーバーなど、抽出したコーヒーを入れる容器を指します。
- B. サービス容器の材質、形状、大きさに制限はありませんが、ジャッジは少なくとも1つのサービス容器を手に取り、直接口をつけてすすることができなければなりません。
- C. サービス容器には、いかなる風味や臭いもつけてはなりません。
- D. 競技会は、容量200~300mlの規格サービス容器を支給します。
- E. Compulsory Service において、すべての競技者は、コーヒーが「提供された」とみなされ評価を受けるために、規格サービス容器でコーヒーを提供しなければなりません。
- F. Open Service において、競技者は規格サービス容器、または自身で用意したサービス容器（カップ、またはカップと並んだ別の容器）を使用することができます。
- G. Open Service において、ジャッジはコーヒーが最初に提供された容器でアロマを評価します。コーヒーが最

初に提供された容器が飲用に適したものでなかった場合、ジャッジは他のすべてのコーヒー要素を評価する前に、2つ目の容器(カップ)にコーヒーを注ぎます。

- H. 3名のジャッジに、別々に、それぞれの容器で提供されなければなりません。
- I. コーヒー飲料は、各ジャッジに対して最低 120ml の一つのまとまった分量で提供されなければなりません (例えば、2つ以上の分量の飲料を「分割された飲料」として提供することはできません)。
- J. アロマを評価した後、冷却を早めるために、ジャッジは他のすべてのコーヒー要素を評価する前に、規格サービス容器にコーヒーをデカントする必要があると判断する場合があります。

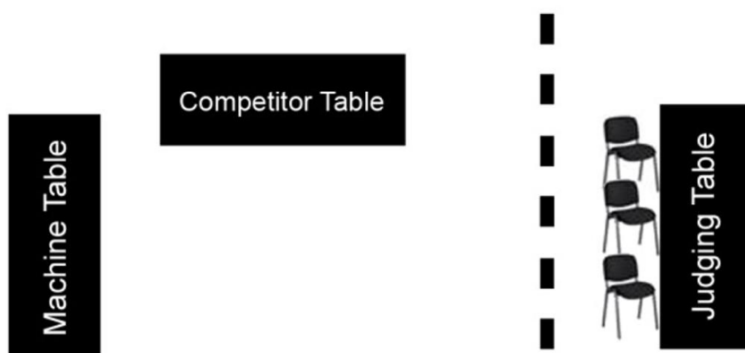
4. 競技エリア (Competition Area)

WBrC の全競技エリアは、1~3カ所の Compulsory Service ステーションと 2~3カ所の Open Service ステーションで構成されます

4.1 Compulsory Service ステーション

Compulsory Service ステーションは以下のように構成されます：

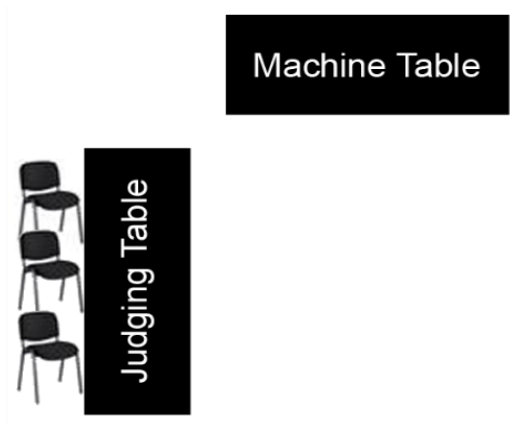
- A. マシンテーブル：給湯機、スポンサー提供のコーヒーグラインダー、クリーニングアクセサリ、その他の道具やアクセサリを支えるテーブル。給湯機とグラインダーは、競技者が移動させることはできません。
- B. ワークテーブル：作業台：競技者の準備台として、別の面が指定されます。競技者は、指定されたテーブルを使用し、器具のセッティングやコーヒーの準備を行います。
- C. ジャッジテーブル：ジャッジは、ジャッジから競技者の姿が見えないように遮られた場所に着席します。



4.2 Open Service ステーション

Open Service ステーションは、以下のように構成されます：

- A. ジャッジテーブル：ジャッジは競技者と向かい合って着席し、提供されたコーヒーと競技者のプレゼンテーションを評価する準備をします。
- B. マシンテーブル：テーブル上に給湯機、スポンサー提供のコーヒーグラインダー、清掃用具、その他の道具や付属品が設置されます。給湯機とグラインダーは競技者が移動させることはできません。



5. 機械、付属品、原材料

5.1 ホットウォーター (Hot Water)

競技者は、Open Service において、スポンサーから支給された水か、もしくは自身で用意した水を用意するかを選択することができます。競技会は、給湯器またはケトルを用意します。給湯器は、使用地点（ノズルまたは蛇口）の計測で 96.0°C～98.5°Cのお湯が出るように設定されます。

競技者は、温水器のいかなる要素、設定、部品も変更、調整、交換してはなりません。変更や調整を行った場合、ステージマネージャーおよび/またはヘッドジャッジの判断により失格となる場合があります。誤用や乱用による競技器具の破損は失格の理由となります。

5.2 水 (Water)

Open Service において、競技者はスポンサー支給の水を使用するか、自身で水を用意するかを選択することができます。Compulsory Service Round において、競技者は必ずスポンサー支給の水を使用し、そこに何も添加してはなりません。

公式給湯機には、スポンサーの水のみが使用されます。競技者は、スポンサーの給湯機で自身の水を使用することはできません。

スポンサーの水は、以下の基準を目標に調整されます：

- 臭い : クリーン/フレッシュ、無臭
- カラー : 透明
- 全塩素/クロラミン : 0mg/L
- TDS : 85 mg/L (許容範囲 50-125 mg/L)
- カルシウム硬度 : 3 粒または 51mg/L (許容範囲 1～5 粒または 17～85mg/L)
- 全アルカリ度 : 40mg/L (40mg/L 付近が許容範囲)
- pH : 7.0 (許容範囲 6.5～7.5)
- ナトリウム : 10mg/L (許容範囲は 10mg/L またはその近辺)

5.3 グライNDER (Grinder)

- A. 競技者が使用できるように、スポンサーのコーヒーグラインダーが機器テーブルに設置されます。
- B. 競技者は、Open Service と Compulsory Service の両方で、スポンサーグラインダーを使用しなければなりません。
- C. Open Service と Compulsory Service の両方において、コーヒーはセットアップ時間または競技時間のいずれかの間に、スポンサーのグラインダーを使用して挽かなければなりません。
- D. スポンサーグラインダーは、WBrC グラインダー手順書に詳述されているとおり、ホッパーを含む固定の技術構成を有しており、競技者はグラインダーを開けたり、内部構造や機能にいかなる変更を加えることもできません。競技者は、グラインダーの粒度と速度を調整することができます支給されるグラインダーは、各競技者に対して同一の仕様で調整されます。競技者自身のグラインダーの使用は、公式グラインダーのモデルと同一である場合に限り認められます。これらの規則に従わない場合は、失格となります。
- E. スポンサーグラインダーは、大会ウェブサイトまたはメールにて、イベント開催日の 8 週間前までに発表されます。

5.4 追加の電気機器 (Additional Electrical Equipment)

- A. 競技者は、コーヒーの準備および/またはプレゼンテーションに使用する追加の電気機器を 2 点まで持ち込むことができます。競技者は、追加で持ち込む電気機器（例：ホットプレート、湯沸かしケトルなど）について、会場に到着する前に WCC イベントマネージャーに通知しなければなりません。追加の電気機器に必要な総電力は、グラインダーと共有される単相回路で賄われなければなりません。
- B. 競技者は、支給される電源が自身の追加機器を動作させるのに十分であることを確認する責任があります。競技者の追加機器のために電気容量が超過したことによる「テクニカル・アピール（技術的異議申し立て）」は一切受け付けられません。
- C. 提供される接地された電気供給を必要としない追加機器については、本 R&R により許可されている限り、制限はありません。
- D. バックステージには、指定の練習時間以外に競技者が使用できるコンセントがない場合があります。

5.5 提供される設備および機器

競技エリアには以下のものが設置される：

- 機器テーブル（支給の給湯機、グラインダー、および追加機器用）
- サービステーブル（ジャッジテーブル）
- 給湯機
- 公式コーヒーグラインダー
- 規格サービス容器
- 清掃ブラシ（グラインダーとカウンター用）
- ゴミ箱および/またはコンポスト容器
- 廃液用バケツ
- ウェイターカート 1 台（準備および片付け時間用）

5.6 競技者の器具および用品

競技者は、プレゼンテーションに必要なものをすべて持参しなければなりません。競技者は、移動中および/または競技中の破損に備えなければなりません。競技者は、競技会場にいる間、自身の責任において用具や付属品を管理してください。世界大会、ボランティア、大会スタッフは、競技エリアに残された物品の安全について責任を負いません。

競技者は、競技に使用する器具を最小限に抑え、機能的なもの（例：抽出器具、コーヒーや淹れ方の情報など）のみを持参することが強く推奨されます。ジャッジ席へのナプキンの提供は不要です。必要でないものを提供した場合、競技者はスコアシートの "overall workflow" の項目で減点される可能性があります。もし、競技者が Open Service 中に下記のルールで認められていないものを提供した場合、スコアシートの "customer service" 欄は 0 点となります。

競技者は以下のものを持参しなければなりません：

- 抽出器具
- コーヒーのろ過媒体
- Open Service コーヒー（練習および競技用）

以下は任意となります：

- Open Service コーヒー（来場者への提供用、少なくとも追加で 2kg）
- 予備の抽出器具
- 追加電気機器（2 点まで）
- 抽出器具スタンド
- 抽出器具アクセサリ
- スケール（質量測定用）
- 温度計（温度測定用）
- タイマー（時間計測用）
- カッピングスプーン
- 追加コーヒーろ過媒体
- Open Service 用のサービス容器
- 清掃クロス
- 印刷物などの視覚化されたもの

以下のものは許容されません：

- コーヒーの提供に何の役割も果たさないジャッジテーブルの装飾品
- 水や挽いたコーヒーを含め、抽出コーヒー以外でジャッジに供される味覚を伴うもの/食品

もし、競技者のプレゼンテーション中に「許容されない」リストにあるものが使用された場合、その競技者は Attention to Details で 0 点が与えられます。

6. 準備時間前の競技者説明

6.1 競技者オリエンテーションミーティング

WBrC が始まる前に、競技者オリエンテーションミーティングが、オンラインまたは対面にて行われます。このミーティングへの参加はすべての競技者にとって必須となります。このミーティングでは、ステージマネージャーが競技の流れと競技スケジュールを説明し、ステージとバックステージの情報を共有します。このミーティングは、競技者がステージマネージャーおよび/または統括ヘッドジャッジに質問したり、懸念事項を伝えたりする機会となります。競技者が WCC イベント主催者と事前の打ち合わせなしにオリエンテーションに出席しな

った場合、統括ヘッドジャッジにより失格とされることがあります。

6.2 通訳

競技者は通訳を同伴することができます。通訳は、競技者に話しかける場合、司会者またはヘッドジャッジが言ったことのみを通訳することが許されます。競技者が発言する場合、通訳は競技者が発言した内容を正確に翻訳することのみ許されます。通訳を使用することによって、競技時間が延長されることはありません。競技者とコーチの責任において、WCC ウェブサイトから入手できる通訳ベストプラクティス文書を読むことが求められます。

6.3 準備練習室

競技者の準備／練習室としてステージのエリアが指定されます。このエリアは、競技者、コーチ、ボランティア、WBrC 関係者のために確保されます。WBrC のジャッジ、報道関係者、競技者の家族、およびサポーターは、WCC イベント主催者の同意なしに、このエリアに立ち入ることはできません。WCC の準備／練習室への立ち入りは、ステージマネージャーから別段の連絡がない限り、競技者、コーチ 1 名、ヘルパー/通訳 1 名に制限されます。バックステージルールの違反者は、ステージマネージャーから警告を受けます。ステージマネージャーまたはスタッフから 1 度警告を受けた後にバックステージルールに違反した競技者は、失格となる場合があります。競技者は、この部屋に自己の責任において、器具、アクセサリ、材料等を保管することができます。また、このスペースには競技者がグラスや抽出器具を洗うための食器洗い場も設置されます。競技者は各自で食器やガラス器具を洗浄し、これらの物品を管理する責任を負います。運搬係およびイベントスタッフは、食器や競技者用品の破損や紛失について責任を負いません。

6.4 Compulsory Service コーヒーと練習時間

6.4.1 Compulsory Service コーヒーの提供

各競技者の公式練習時間開始直前に、各競技者には練習および競技時間用に 350g 入りの Compulsory Service 用のコーヒーが配布されます。支給されるコーヒーの詳細については、「基準と定義」を参照してください。

6.4.2 練習時間

競技者は、予定された競技日の間、支給されたコーヒーと自分のコーヒーを使って抽出練習をすることができます。練習時間の詳細については、競技者オリエンテーションミーティングの際に、WCC イベントマネージャーが説明します。

6.5 時間の厳守

各競技者は、準備時間の少なくとも 30 分前には競技会場に到着していなければなりません。競技開始時間に会場にいない競技者は失格となります。

6.6 ステーションメンテナンス

競技者は、準備エリアを清潔に保ち、次の競技者が準備できるようにする責任があります。「ステーションメンテナンス」のボランティアはいないため、競技者は競技時間終了時にステーションの清掃と整理整頓を行ってください。

6.7 カート

競技者は、提供されるウェイターカートへの備品の積み下ろしを各自で行う責任があります。準備タイムキーパーは、競技者の準備時間終了後、カートを手から撤去します。パフォーマンス中にウェイターカートを手上には置くことは認められません。準備時間終了後にカートに荷物が残っていた場合、競技開始までそれらを取り出すことはできませんので注意してください（「アクセサリ（備品）を忘れた場合」の項を参照）。

また、Compulsory Service のオプション 1 における練習時間中、ウェイターカートを手上のワークステーションとして使用することできません。

7. Round One 競技

7.1 概要

- A. Round1 において、競技者は Open Service でコーヒーを発表します。
- B. 競技者には、予定された準備時間と競技時間が割り当てられます。指定された時間に準備および/または競技時間を開始する準備ができていない競技者は失格となります。もし競技が遅延していたとしても、競技者

は予定された時間に準備を開始できるようにしなければなりません。

7.2 Open Service

7.2.1 セットアップ時間

- A. 競技者には、Open Service のためのセットアップ時間が割り当てられます。
- B. 競技者は、競技時間のために自身のステーションを準備し、関連するすべての物品を用意する時間として 8 分間が与えられます。電気設備は、セットアップ時間の開始前に準備し、競技時間まで通電しておくことができます。
- C. セットアップ時間が経過した時点で、競技者は競技時間が始まるまで、マシンテーブルまたは競技者テーブル上で、コーヒーサービスに関わる物品の準備や操作をすべて中止しなければなりません。競技者は、セットアップ時間経過後、タイマーを除き、コーヒーサービスに関わるものを手に持つてはいけません。
- D. 競技者は、割り当てられた 8 分間のセットアップ時間を超えてはなりません。タイムキーパーは、競技者のセットアップ時間 8 分間の間に、5 分、3 分、1 分、30 秒の警告を発します。8 分経過すると、公式タイムキーパーは、時間が経過したことを告げ、競技者にステーションから離れるよう指示します。8 分以内に準備を終えなかった競技者は、下記の「タイムペナルティ」の項に記載されているペナルティの対象となります。
- E. 競技参加者は、セットアップ時間終了から競技時間開始までの間の時間が変動する可能性があることを考慮に入れる必要があります。
- F. セットアップ時間の終了後、自身で用意した水を使用する競技者は、常温のものと加温したもの、約 100ml の 2 つの水のサンプルを用意しなければなりません。2 つの容器はイベント主催者が用意します。サンプルは、競技者がコーヒーを準備するために使用するケトル、容器、またはボトルから注がれます。両方のサンプルはヘッドジャッジによって検証され、その水にフレーバーや清潔な飲料水として適切でない特徴が含まれていないかどうかを確認します。

7.2.2 競技時間の開始

競技者には、指定された Open Service の競技時間が割り当てられます。競技者は、8 分間の準備時間の後、ステージマネージャーまたは指定されたボランティアに開始の意志を告げ、競技時間を開始します。競技者は、ヘッドジャッジがタイマーをスタートさせる準備ができていることを確認してください。

7.2.3 競技時間

- A. 競技者は与えられた 10 分間で、個別に準備された 3 杯のフィルターコーヒーを、3 人のジャッジに準備し、提供し、プレゼンテーションします。
- B. 競技者は、自身で選んだコーヒー豆（または挽いたコーヒー）を使用します。
- C. 競技者は、競技時間中にコーヒーを挽き抽出用水を準備するか、事前にそれを行うかを選択できます。
- D. コーヒーを提供する際には、提示された味覚体験を明確にし、卓越した細部へのこだわりを示し、コーヒーと抽出に関する幅広い理解を示し、全体としてのコーヒー体験を向上させるような、ジャッジに対するプレゼンテーションを伴わなければなりません。
- E. 飲料は本 R&R に従って準備され、提供されなければなりません。
- F. 競技者は、飲料を明確にジャッジテーブルに置き、各ジャッジの前に、サービス容器に入れて、ジャッジに提供してください。ジャッジは(競技者から別段の指示がない限り)、各自の飲料が競技者から提供された後に評価を開始します。すべての飲料が評価の対象となりますが、ジャッジの前に手の届く範囲内へ明確に置かれなかった場合は「提供された」とはみなされず、センサリースコアがつきません。

7.2.4 競技時間の終了

- A. 競技者が手を挙げて「タイム」と宣言した時点で競技時間が停止します。競技者は、正確な時間記録のために、明確に「タイム」と宣言する責任があります。採点には、ヘッドジャッジまたは公式タイムキーパーが記録した時間のみが使用されます。
- B. 11 分以内に飲料が提供されなかった競技者は失格となります。ただし、ジャッジは競技者の参考のために、引き続き飲料の評価と採点を行うことができます。
- C. ジャッジは、競技時間の前や後に発言された内容、提供されたもの、提示されたものに基づいて評価することはありません。
- D. 競技時間が終了したら、競技者は準備エリアに戻り、後片付けをし、次の競技者のためにステーションを準備しなければなりません。

7.2.5 タイムペナルティ

- A. 競技者が規定時間内に準備または競技を完了しなかった場合、準備または競技が完了するまで競技を続けることができます。
- B. 規定の準備時間および競技時間を 1 秒超過するごとに、競技者の合計得点から 0.5 点が減点されます。最大減点は 30 点 (1 分) です。
- C. 準備時間が 9 分を超えた、または競技時間が 11 分を超えた競技者は失格となります。

7.2.6 Open Service に関する追加情報

- A. 競技者は、コーヒーの味覚体験を向上させ、コーヒーと抽出に関する幅広い理解を示し、現実生活におけるスペシャルティコーヒー体験における模範的なサービスに関連するようなプレゼンテーションを伴って、コーヒーを提示しなければなりません。
- B. プレゼンテーションは、記述表現 (discriptors) の正確さ、バリスタスキルやプレゼンテーションに関する得点で評価されます。スコア記録の詳細は以下を参照のこと。プレゼンテーションは、独創的、有益、楽しませるものであってもよいですが、常にジャッジのコーヒー体験を向上させることに重点を置くべきです。
- C. 競技者は、ジャッジに対して、提供される抽出コーヒー以外の食べ物、飲み物、aroma の体験を提供、提示してはなりません。そのようなサービスはジャッジによって評価されません。競技者は、ジャッジに対してジャッジ位置から物理的に移動することを求めてはならず、そのような指示には一切従いません。
- D. ジャッジは、提供された後に飲料を評価します。もし競技者が、提供された後の飲料に変更、修正、影響、またはその他の影響を与えた場合、ジャッジは変更された飲料を新しい飲料として評価し、それ以前の評価は無視されます。競技者は、飲料が提供される前にジャッジに aroma を評価させることで、aroma の評価のタイミングを変更することができます。ただし、個々のジャッジに提供された飲料が、aroma を評価した飲料と明らかに同一である場合に限り、これが不明確な場合、ジャッジは提供された飲料から aroma を再評価します。

8. Semi-Finals Round

8.1 概要

- A. Semi-Finals Round は、Round1 の得点上位 12 名で構成されます。
- B. Semi-Finals Round は、WBrC に 38 名までの競技者が参加した場合にのみ実施されます。
- C. Semi-Finals Round では、Compulsory Service を通じてコーヒーが発表されます。
- D. 競技者には、指定されたセットアップ時間と競技時間が割り当てられます。指定された時間にセットアップや競技を開始する準備ができていない競技者は失格となります。競技が遅れても、競技者は指定された時間にセットアップを開始できるようにしておかなければなりません。

8.2 Compulsory Service

8.2.1 練習/セットアップ時間

Compulsory Service の練習/セットアップ時間は、以下のいずれかのオプションに従って設定されます：

- A. オプション 1：競技者には 38 分間の練習/セットアップ時間が与えられます。38 分が経過した時点で、タイムキーパーが競技時間を開始します。練習時間と競技時間の間に休憩時間はありません。競技者は、練習時間の終了後、直ちに競技時間を開始できるように準備しなければなりません。競技者は、Compulsory Service の練習時間中、コーチ、ヘルパー、その他のいかなる人からも援助を受けてはなりません。
- B. オプション 2：セットアップ時間の前に練習時間が設定されます。その後、競技者は 8 分間のセットアップ時間が与えられ、自分のステーションをセットアップし、競技時間に必要なものをすべて準備します。電気機器は、セットアップ時間の開始前に設置し、プラグを接続することができますが、セットアップ時間が始まるまでは通電 (電源を入れること) してはなりません。セットアップ時間が終了したら、競技者は競技時間が始まるまで、マシンテーブルおよび競技者テーブル上のコーヒーサービスに関わるすべての物品の準備および操作を中止しなければなりません。競技者は、準備時間終了後、コーヒーサービスに関わるものを手に持つてはいけません。競技者は、準備時間終了から競技時間開始までの時間が、このスケジュールリング・セカンドオプションにおいて異なる可能性があることを考慮しなければなりません。競技者は、Compulsory Service の練習時間中、コーチ、ヘルパー、その他いかなる人からも援助を受けてはなりません。

Compulsory Service のスケジュールオプションは、大会前に競技者に通知されます。

8.2.2 競技時間の開始

Compulsory Service の競技時間の開始は、以下のいずれかのオプションに従って設定されます：

- A. オプション 1：競技者は、3～4 人のグループに分かれてタイムテーブルを組まれます。38 分間の練習時間の後、競技時間が始まります。練習時間と競技時間の間に計時を止めることはありません。
- B. オプション 2：競技者は、交互に時間をずらしてスケジュールを組まれます。競技者は、8 分間のセットアップ時間の後、タイムキーパーにその旨を告げて競技を開始します。競技者は、タイムキーパーがタイマーをスタートさせる準備ができていることを確認します。
- C. いずれのオプションでも、競技者は抽出水とコーヒーが最初に接触する前に競技を開始しなければなりません。

Compulsory Service のスケジュールオプションは、大会前に競技者に通知されます。

8.2.3 競技時間

- A. 競技者は 7 分間でコーヒーを準備し、ジャッジに提供します。
- B. すべての競技者は、競技会が支給する Compulsory Service コーヒーのみを使用しなければならず、他のコーヒー（コーヒー豆または挽いたもの）を使用してはなりません。
- C. プレゼンテーションは一切行ってはなりません。競技者は静かに作業するように努めてください。ヘッドジャッジが、競技者がジャッジに影響を与えようとしている、あるいは「プレゼンテーション」しようとしていると判断した場合、その競技者は失格となることがあります。
- D. 競技者はジャッジテーブルでコーヒーを準備することはありません。ジャッジテーブルは飲料の評価のためだけのものであり、ジャッジが準備の様子を見ることはありません。
- E. 競技者は、競技時間中に競技ステージのカウンターに用意されたコーヒーと水を使って飲料を作らなければなりません。
- F. 飲料は本 R&R、特に「基準と定義」の項に従って準備され、提供されなければなりません。
- G. 競技者は、準備ステーションの端にある指定されたサービストレイに飲料を置き、ジャッジに提供します。サービスポーターが飲料をジャッジの元に運びます。

8.2.4 競技時間の終了

- A. 競技時間は、競技者が 3 杯目の最後の飲料を提供したとき、または競技時間が経過したときのいずれか早い方で終了します。競技者は、競技時間の終了をアナウンスまたはその他の方法で示す必要はありません。
- B. 8 分以内に飲料が提供されなかった競技者は失格となります。ただし、ジャッジは競技者の参考のために飲料の評価とスコア記録を続けることができます。
- C. 競技時間が終了したら、競技者はコーヒーを準備するために使用したケトルから主催者が用意したカップに約 100ml の水を注ぎます。
- D. 競技者は、ヘッドジャッジが提供されたコーヒーと水を試飲するまで、抽出器具やケトルを含むステーションを清掃するのを待ちます。競技者は、ステージマネージャーからの合図を受けたら、後片付けをし、次の競技者のためにステーションを素早く準備しなければなりません。

8.2.5 タイムペナルティ

- A. もし、競技者が与えられた 7 分の時間内にプレゼンテーションを終えていない場合、準備またはプレゼンテーションが終了するまで競技を続行することが許されます。
- B. 7 分を経過した後は、7 分を 1 秒超過するごとに 0.5 点が減点され、最大 30 点（1 分）まで減点されます。
- C. 準備時間またはパフォーマンス時間が 8 分を超えた競技者は失格となります。

9. Finals Round

9.1 概要

出場者総数が 38 名以下の場合、決勝ラウンドは準決勝ラウンドの上位 6 名で構成され、3 名の審査員に対し Open Service を行います。準決勝ラウンドの Compulsory Service の得点は決勝ラウンドに引き継がれます。出場者総数が 38 名を超える場合、決勝ラウンドは第 1 ラウンドの上位 6 名で構成され、3 名の審査員に対し Open Service と Compulsory Service を行います。

10. 技術的な問題

- A. 準備時間および/または競技時間中、WBrCが提供する以下の機器のいずれかに技術的な問題があると思われる場合、競技者は手を挙げて「テクニカルタイムアウト」を宣言することができます：
 - i. オフィシャルの給湯器
 - ii. 付属の公式グラインダー
 - iii. Open Service のみ：映像音響機器（競技者用マイクなど）
- B. 準備または競技時間は、ステージマネージャー（準備時間中）またはヘッドジャッジ（競技時間中）によって一時停止されます。公式タイムキーパーは、「テクニカルタイムアウト」が宣告された場合、その時間を記録します。競技者は、タイムキーパーが「テクニカルタイムアウト」がコールされたことを確認する責任を負います。
- C. ステージマネージャー／ヘッドジャッジが、容易に解決できる技術的な問題があることに同意した場合、適切であれば、競技者にクレジットされる適切な時間を決定します。技術者が問題を解決したら、競技者の時間は再開されます。
- D. 技術的な問題が時間内に解決できない場合、ステージマネージャー／ヘッドジャッジは、競技者が演技を続けるのを待つか、競技を中断して再割り当てされた時間からやり直すかを決定します。
- E. 競技者が競技時間を中断せざるを得なくなった場合、ヘッドジャッジとステージマネージャーは、その競技者を後日再び完全な状態で競技させるためにスケジュールを変更します。
- F. 技術的な問題が競技者のミスまたは競技者の個人的な用具によるものであると判断された場合、ヘッドジャッジは競技者に追加時間を与えず、準備時間または競技時間は時間を加算せずに再開すると決定することができます。
- G. 機器に慣れていないことは、テクニカルタイムアウトの理由にはなりません。

11. アクセサリー（備品）を忘れた場合

- A. 競技者が準備時間中に何らかの備品または/およびアクセサリを忘れた場合、ステージマネージャーまたはタイムキーパーにその旨を伝えなければなりません。
- B. 競技者が競技時間中に備品やアクセサリを忘れた場合、ヘッドジャッジにステージ外に忘れ物があることを伝え、自分で取りに行かなければなりません。競技時間は一時停止されません。
- C. 運営委員・運営ボランティア、応援者、チームメンバー、観客は何も運ぶことができません。違反した場合、競技者は統括ヘッドジャッジによって失格とされる場合があります。

12. コーチング

ステージ上にいる間、いかなるときでも、競技者に指示や「コーチング」を行うことは禁止されており、違反した場合は失格となります。WCC は、競技の妨げにならない限り、観客の参加と熱心な応援を奨励します。コーチ、サポーター、友人、家族は、競技中にステージに上がったり、競技を妨害したりすることは認められていません。違反した場合、競技者はステージマネージャーまたは統括ヘッドジャッジによって失格とされる場合があります。

13. スコア記録

13.1 公式スコア記録

WBrC 公式スコア記録係は、すべてのスコアを加算し、すべてのスコアの秘密を保持する責任を負います。

13.2 Round One スコア記録

13.2.1 スコアシートの内訳

WBrC の競技者用スコアシートは、以下の項目で構成されます：

- A. 抽出されたコーヒーの評価（the Brewed Coffee Evaluation）は、次の7つのカップスコア項目の合計となります：Aroma、Flavors、Aftertaste、Acidity、Mouthfeel、Sweetness、Overall
- B. バリスタ評価（the Barista Evaluation）は、（オーバーオールを除く）すべてのカップスコア項目に関する記述点（description scores）：Aroma、flavor、Aftertaste、Acidity、Sweetness、Mouthfeel×2 の合計となります。さらに、Attention to Details、Coffee and Brewing Knowledge、Presentation のスコア×2 が含まれます。

- C. Open Service のヘッドジャッジの総合スコアは、Overall Workflow、Technical Uniformity×4 となります。
- D. Compulsory Service におけるヘッドジャッジの総合スコアは、Sensory Uniformity×8 となります。

13.2.2 Open Service スコア記録

- A. Open Service の総合スコアは、各ジャッジの抽出されたコーヒーのスコアと、バリスタの評価のスコアを合算して集計されます。
- B. 競技者の最終的な Open Service スコアは、3 人のセンサリージャッジそれぞれから 1 つの Open Service 合計スコア、計 3 つの Open Service 合計スコアを合算して集計されます。
- C. センサリージャッジたちの合算された Open Service 合計スコアに、ヘッドジャッジの Open Service 合計スコアが加算されます。オーバータイムのペナルティが差し引かれ、競技者の Open Service 最終スコアが計算されます。
- D. Open Service 最終スコアの最大可能得点は 411 点です。

13.2.3 Compulsory Service のスコア記録

- A. 競技者の Compulsory Service のスコアは、3 人のセンサリージャッジそれぞれから 1 つの合計カップスコア、計 3 つの合計カップスコアを合算して集計されます。
- B. Compulsory Service のスコアは、Compulsory Service のヘッドジャッジ合計スコアに加算されます。最終的な Compulsory Service スコアの最大可能得点は 213 点です。

13.3 Round One スコア

Round One の合計スコアは Open Service のスコアとなります。

13.4 Semi-Finals Round スコア記録

Semi-Finals Round は、当該 Round の Compulsory Service スコアのみに基づいて記録され、Round One の Open Service スコアは含まれません。

13.5 Final Round スコア記録

Finals Round に勝ち進んだ競技者は、Final Round の Open Service スコアに、Semi-Finals の Compulsory Service スコアを加えたものが、合計得点となります。Semi-Finals の Compulsory Service と Finals Round の Open Service の合計スコアが最も高い競技者が勝者となります。

13.6 同点の場合

Round One : 2 人以上の競技者が同点の場合、順位決定手順は以下の通りとします :

- A. “Barista Evaluation”スコア”Accuracy of Coffee Descriptors”スコアの合計が高い競技者が上位となる。
- B. それでも同点の場合は、“Coffee Evaluation”の合計スコアが高い競技者が上位となる。
- C. それでも同点の場合は、コーヒー評価スコアの“Overall”の合計が高い競技者が上位となる。

Semi Finals-Round : 2 名以上の競技者が同点の場合、最終順位の決定手順は以下の通りとします :

- D. “Flavor”スコアの合計が高い競技者が上位となる。
- E. それでも同点の場合は、“Aftertaste”の合計が高い方が上位となる。
- F. それでも同点の場合は、“Overall”の合計が高い競技者が上位となる。

Finals Round : 2 名以上の競技者が同点の場合、最終順位を決定する手順は以下の通りとします :

- G. Finals Round における”Accuracy of Coffee Descriptors”と”Barista Evaluation”の合計点が高い競技者が上位にランクされます。
- H. 同点の場合は、Compulsory と Finals Open Service の両方における“Coffee Evaluation”の合計点が高い方が上位となります。
- I. 同点の場合は、Finals Open Service における“Accuracy”の合計点が高い方が上位となります。

14. デブリーフィング

競技後、競技者は大会主催者が発表するスケジュールに従い、オンラインでジャッジとスコアシートを確認する機会が与えられます。競技者は、WCC イベントマネージャーがスコアシートのコピーをスキャンするまでは、オリジナルのスコアシートを保管することはできません。

14.1 ブリュワーズカップチャンピオンにジャッジが求めるもの

ジャッジがチャンピオンに求めているものは以下の通りです：

- 模範的な品質の抽出コーヒー飲料を準備する。
- 卓越した細部へのこだわりを提供する。
- 抽出コーヒー飲料が提供する味覚体験を明確に説明できる。
- 卓越した総合的なコーヒーサービス体験を提供する。

15. 評価スケールとスコア記録

15.1 スコア記録の種類

スコア記録には次の4つのタイプがあります：

- 数値スコア (Coffee Evaluation コーヒーの評価) : 0-9
- 数値スコア (Accuracy 的確さの評価) : 0-3
- 数値スコア (Impression 印象の評価) : 0-3
- 数値スコア (Experience 体験の評価) : 0-6

15.2 評価 スケール

評価スケールは以下の通りです。

15.2.1 数値スコア (Coffee Evaluation)

スコアの範囲は0～9点ですが、競技会の趣旨に基づき、1～3点を使用することは想定していません。

0 - None to evaluate	評価なし
(1 - Extremely Low)	極めて低い
(2 - Very Low)	非常に低い
(3 - Moderately Low)	やや低い
4 - Slightly Low	わずかに低い
5 - Neither High nor Low	高くも低くもない
6 - Slightly High	わずかに高い
7 - Moderately	まあまあ高い
8 - Very High	かなり高い
9 - Extremely High	非常に高い

スコアの範囲は0点から9点までとし、0.5点単位は認められません。0点は、このカテゴリーでスコアをつけられるものが何もなくあったことを示します(例えば、ジャッジに評価するためのコーヒーが提供されなかったなど)。0～3点の場合はヘッドジャッジの承認を必要とします。これらの得点と用語は、SCA が近々導入する予定のコーヒー評価システム CVA(<https://sca.coffee/value-assessment>)の下で行われる情報評価を反映したものです。

コーヒー評価スケールは、Open Service と Compulsory Service の両方において、コーヒーの評価のためだけに使用されます。

15.2.2 数値スコア (Accuracy)

0 - None to evaluate	評価なし
1 - Not very accurate (Low accuracy)	あまり的確ではない
2 - Somewhat accurate (Medium accuracy)	ある程度の確である
3 - Very accurate (High accuracy)	非常に的確である

0.5点単位は認められません。ジャッジは以下のようにスコアをつけなければなりません：0点は、このカテゴリーでスコアをつけられるものが何もなくあったことを示します(例えば、記述表現 (descriptors) が宣言されなかったなど)。1点は、このカテゴリーの要素が不正確であったか、あまり的確でなかったことを示します。2点は、このカテゴリーの要素がある程度の確であったことを示します。3点は、このカテゴリーの要素がほとんど、またはすべての確であったことを示します。0点の場合はヘッドジャッジの承認が必要です。

このタイプのスコアは、Open Service の Competitor Evaluation セクションにあり、カップスコアの項目に対して宣言された記述の的確さに関連しています。

15.2.3 数値スコア (Impression)

- 0 - Unacceptable 許容できない
- 1 - Not very(Low) あまり (低い)
- 2 - Somewhat(Medium) やや (中)
- 3 - Very(High) 非常に (高い)

0.5 点単位は認められません。Unacceptable (0 点)は、ルールへの明らかかつ深刻な違反や、細部へのこだわりにおいて最低限の基準から外れている場合に与えられます。0 点の場合はヘッドジャッジの承認が必要です。

1 点は、このカテゴリの要素が低い、もしくは平均的な印象しか与えなかったことを示します。2 点は、このカテゴリの要素が良い印象、もしくは混在した印象を与えたことを示します。3 点は、このカテゴリの要素が高い印象を与えたことを示します。一部のスコアは 2 倍に加算されます。

このタイプのスコアは、Open Service の Barista Evaluation セクションにある、Attention to Detail の印象に関連しています。また Open Service のヘッドジャッジスコアシートにある Overall Workflow と Technical Uniformity、および Compulsory Service のヘッドジャッジスコアシートにある Sensory Uniformity にも関連します。

15.2.4 数値スコア (Experience)

- 0 - Unacceptable 許容できない
- 1 - Acceptable 許容できる
- 2 - Average 平均的
- 3 - Good 良い
- 4 - Very Good 非常に良い
- 5 - Excellent 素晴らしい
- 6 - Extraordinary 並外れた

スコアの範囲は 0 点から 6 点までで、1 から 6 点の範囲内で 0.5 点単位のスコアも認められます。ジャッジはスコアの範囲全体を使用することが推奨されます。小さい数値は不十分な体験、大きい数値はより良い体験であることを示します。一部のスコアは、2 倍または 4 倍に加算されます。

Unacceptable (0 点)は、ルールへの明らかかつ深刻な違反や、最低限のプロフェッショナリズムやサービスの基準から外れている場合に与えられます。0 点の場合はヘッドジャッジの承認が必要です。

このタイプのスコアは、Open Service における Barista Evaluation の中にある the Coffee and Brewing Knowledge と Presentation の得点に関連します。

16. カップ評価

ジャッジは、各要素の品質に対する印象 (impression) を、その要素に対する認識と、その要素が品質の観点から市場でどのように評価されるかという理解に基づいて、スコアシートに評価します。Overall の項目は、それぞれの要素の組み合わせを考慮します。

16.1 カップスコア要素

16.1.1 Aroma (アロマ)

“Aroma”は、コーヒーの抽出液の香りとして定義されます。ジャッジはまず、アロマの強度 (intensity) を評価し、サンプルの強度 (intensity) についての自身の感覚をスコアシートのスケールを使って印をつけます。その後、アロマの複雑さと明確さについて評価し、それに基づいた感覚を記録します。最終的に、特に抽出コーヒーのアロマと結びついた記述表現 (例: 「フルーティー」「甘い」「チョコレート」) を記録します。

16.1.2 Flavor (フレーバー)

“Flavor”は、基本的な味(basic taste) (甘味、酸味、塩味、苦味、うま味) と、主に鼻腔の奥で感じられるアロマの質を組み合わせた感覚として定義されます。それは、コーヒーの主要な特性 (principal character) を表し、最初のアロマとアンディティから与えられる最初の印象から、最終的なアフターテイストまでの間の「中間域 (mid-range)」のニュアンスを指します。それは、口から鼻に抜けるすべての味覚 (味蕾) の感覚と鼻腔の奥で感じられるアロマの複合的な印象です。Flavor のスコアは、評価の間に、口のできるだけ広い範囲を使って、コーヒーを口に含む際に感じられる、味 (taste) とアロマの強度 (intensity) 、質 (quality) 、複雑さ (complexity) を考慮して付けられるべきです。

16.1.3 Aftertaste (アフターテイスト)

“Flavor”と密接に関連する“Aftertaste”は、コーヒーカップピングにおいて、飲み込むか吐き出すかしてコーヒーが

口からなくなった後に残る、基本的な味 (basic taste)とアロマの質が合わさった感覚として定義されます。ジャッジは、コーヒーが吐き出すか飲み込まれた後に、口の奥から発生して持続するポジティブなフレーバー (味とアロマ) の質の長さに基づいて Aftertaste を評価します。Aftertaste がカップの味を損なう場合 (苦味など) には低い評価が与えられ、逆に Aftertaste がカップの味にプラスに寄与する場合には高い評価が与えられます。

16.1.4 Acidity (アシディティ：酸味)

“Acidity”は、コーヒーに含まれる酸の知覚と定義され、通常、好ましい場合は「明るい (brightness)」、好ましくない場合は「酸っぱい (sour)」と表現されます。最良の場合、アシディティはコーヒーに、生き活きとした印象、甘さ、新鮮な果実の特徴をもたらし、コーヒーを口に含んだ瞬間にほぼ即座に感じ取られ、評価されます。ジャッジはまず、抽出されたコーヒーのアシディティの強度 (intensity) を低い (low) から高い (high) までで評価し、対応するスケールで記録します。その後、コーヒーのアシディティと特に関連づけられる記述表現を記録します。この際、ジャッジはできるだけ広く理解される一般的な表現を使用することが推奨されます。アシディティが低い抽出液でも高い抽出液でも、アシディティの質に応じて高いスコアを得る可能性があります (アシディティの強度は質の評価やスコアに関係しません)。

16.1.5 Sweetness (甘さ)

“Sweetness”は、抽出されたコーヒーにある甘い味 (sweet taste) やアロマ香りの印象として定義されます。ジャッジがサンプルを「甘い」と感じた場合、抽出されたコーヒーから感じられた甘さの強度 (intensity) を、低いから高いまでで評価します。その後サンプルの甘さと特に関連付けられる記述表現 (例えば、「ブラウンシュガー」「心地よい (pleasant)」「圧倒的 (overpowering)」など) を記録します。甘さが低いコーヒーでも高いコーヒーでも、甘さの質に応じて高いスコアを得る可能性があります (甘さの強度) は質の評価やスコアと関係しません)。

16.1.6 Mouthfeel (マウスフィール)

“Mouthfeel”は、コーヒーを口に含んだときのタクタイル/触感 (tactile) のことで、(フレーバーではなく) コーヒーの厚みとテクスチャー/質感 (texture) のみに基づいて定義されます。「厚み (thickness)」とは、抽出液の重さや ビスコシティー/粘度 (viscosity) として感じられる印象 (例えば「薄い (thin)」「軽い (light)」「濃い (thick)」「重い (heavy)」など) を指し、「質感 (texture)」は、ザラザラ感や滑らかさの印象 (「粗い (rough)」「油っぽい (oily)」「滑らか (smooth)」「口が乾く (mouth-drying)」など) を指します。ジャッジはまず、抽出されたコーヒーの「厚み」(「重さ (weight)」または「粘度 (viscosity)」) を、スコアシートのスケールを使用して Intensity (強度) として記録します。その後、コーヒーの厚みや質感に特に関連付けられる記述表現を記録します。マウスフィールが軽い抽出液でも重い抽出液でも、口で感じる触覚的な質に応じて高いスコアを得る可能性があります (マウスフィールの厚みや重さは、質の評価やスコアと関係しません)。

16.1.7 Overall (総合的な評価)

“Overall”のスコアは、個々のジャッジが感じたサンプルの総合的な評価を反映します。このスコアには、「バランス」、つまりサンプルのフレーバー、アフターテイスト、アシディティ、マウスフィール、甘さといった様々な側面が、どのように相互に作用し補完し合っているか、あるいは相互に対比を成しているかということが、影響を与えます。また、ジャッジが感じるサンプルの安定性 (stability)、つまりサンプルが冷めていく中で、その特性をどれだけ「維持しているか」という評価も、このスコアに影響を与える場合があります。多くのとても魅力的な側面を持ちながらも「期待に十分に答えていない」と判断されるサンプルは、低い評価を受けることになります。一方で、個々の属性スコアには十分に反映されていないが、好ましい特性を備えた典型的/模範的なサンプルは、より高いスコアを得る可能性があります。この段階でジャッジは、自身の個人的な評価を行います。

17. コーヒー評価の手順

- A. コーヒーが提供され次第、ジャッジは(競技者から別段の指示がない限り)コーヒーのアロマを評価します。競技者がアロマを評価する明確な指示を出していない場合、ジャッジはサービス容器内の飲料を 3 回スワリングさせ、その動作によって放出される蒸気を嗅いで、アロマを評価します。Compulsory Round では、センサリージャッジがアロマを評価する前に、ヘッドジャッジがサンプルを取り出してセンサリーの均一性を評価します。アロマの強度は飲料の温度が下がるにつれて低下するため、できるだけ早く評価することが重要です。
- B. この際、コーヒー飲料は飲用に適したサービス容器にデカントされる場合があります。
- C. ジャッジは、飲用に適したサービス容器から直接口に含みます。このとき、できるだけ口蓋の広い範囲、特

に舌と上口蓋に行き渡るようにします。

- D. ジャッジは抽出されたコーヒーを提供時に評価し、コーヒーが冷めるまで時間をかけて評価を続けます。評価の際、ジャッジは時間の経過に伴い明らかになった強度や描写の変化を明確に示す必要があります。ジャッジは、時間の経過に伴うコーヒーの複合的な属性に基づいて自身の Overall スコアを決定した時点で、評価を中断します。
- E. ジャッジは、センサリー評価の詳細をメモ欄に記録します。これは参照用であり、競技者のためでもありません。記述的なメモを取るプロセスは、価値中立的であり、コーヒーの味覚的な質に関するジャッジの認識を記述することのみを意図しています。ジャッジは抽出方法、技術、器具に関するコメントは避けるべきです（例えば、「鋭い酸」や「苦い」は妥当な記述で、「抽出時間が長すぎる」、「抽出が足りない」などは妥当でない記述です）。

18. Open Service 評価

18.1 Coffee Evaluation (コーヒー評価)

- A. コーヒー評価のスコア記録要素および評価プロトコルは、上記と同じです。競技者は、飲料の飲み方についてジャッジに具体的な代替指示を与えることで、評価プロトコルを上書きすることができます。その指示が合理的であり、飲料が提供される前に与えられる場合に、ジャッジはその指示に従うべきです。
- B. ジャッジが、最終的に飲料が提供されたカップから飲料の評価を開始した時点で、競技者は評価プロトコルを上書きすることはできません。

18.2 Barista Evaluation (バリスタ評価)

18.2.1 Accuracy of Coffee Descriptors (コーヒーの記述表現の的確さ) (Aroma, Flavor, Aftertaste, Acidity, Sweetness, Mouthfeel)

ジャッジは、競技者による説明と解説を聞き、提供された飲料と比較します。提供される飲料の全体的な味は、スペシャルティコーヒーの特徴を備えている必要があります。このスコアは、これらの説明がジャッジの体験とどれだけ正確に一致するかに基づいて決定されます。ジャッジはこのカテゴリーを、数値 (accuracy) 表現に従って採点します。スコアは 0~3 点です。0 点は、そのカテゴリーについて説明が全く提供されていない場合にのみ使用されます。

18.2.2 Attention to Details (細部へのこだわり)

ジャッジはこのカテゴリーを、数値 (impression) 表現に従って採点します。0 から 3 のスコアが使用されます。0 点は、競技者が許可されていないアイテムを持ち込んだ場合にのみ使用されます。すべての付属品はすぐに使用でき、機能的で、清潔で、壊れていないようにすべきです。ジャッジは、競技者がどのように飛び散った液体を掃除し、器具を扱い、飲み物を提供しているかを考慮します。

18.2.3 Coffee and Brewing Knowledge (コーヒーの知識と器具の正しい使い方)

ジャッジは、このカテゴリーを数値 (experience) 表現に従って採点します。0 から 6 が使用されます。このカテゴリーでは、技術、準備、コーヒーとコーヒーの抽出に関する幅広い理解の提示といったバリスタという専門職にとって重要な資質を観察し、それを評価します。高得点を獲得するためには、説明に、事実に基づく要点と、そこから帰結する味覚的体験が含まれている必要があります。ジャッジは、説明されたことと提供されたこととの間に強い相関関係があるかどうかを見ます。

18.2.4 Presentation (プレゼンテーション)

ジャッジは、このカテゴリーを数値 (experience) 表現に従って採点します。0 から 6 のスコアが使用されます。プレゼンテーションは、バリスタが、そのパフォーマンス中にステージに持ち込まれるストーリー/ジャーニーの資質を、観察し評価します。競技者は、複雑な料理や高級レストランでの体験を作ることは期待されず、プレゼンテーションは実際のコーヒーサービスの体験に関連したものでなければなりません。ジャッジは、(個性や文化の違いを考慮した上で) 自然で明確かつ簡潔なコミュニケーション、ワークフローやタイミングを管理する能力などのスキルを考慮します。競技者は、コーヒーのアンバサダーであることを示すような試技をすべきです。提供されるカップだけでなく、コーヒー体験を積極的かつ創造的に高めるプレゼンテーションが高得点となります。良い接客の技術 (礼儀正しさ、正確さ、気配り、アイコンタクトなど) も考慮されます。

19. Compulsory コーヒーテイस्टィングの手順

提供されたら、ジャッジは各カップを評価用プレスマットに移動させ、各プレスマットの位置に英数字のコードを記入します。このコードはカップ#と書かれた記入欄に記録されます。
評価後、合計と書かれた各項目の点数記入欄に数字の点数を記入します。スコア記録係は、各項目のスコアの合計を計算し、合計得点を決定します。

20. ヘッドジャッジの評価

20.1 Open Services プレゼンテーション ヘッドジャッジスコアシート項目

20.1.1 Overall Workflow (全体的なワークフロー)

ヘッドジャッジは、競技者の全体的なワークフロー、およびステーション全体を通しての道具、設備、アクセサリーの使い方を評価します。ヘッドジャッジは、道具や付属品の整理整頓と配置、ワークステーション内およびその周辺における競技者の動きと流れ、ステーションの清潔さとメンテナンス（器具、カウンター、ブリューワー、サービス容器、タオル）を含め、プレゼンテーション全体を通しての競技者のワークフローを評価します。0から3を4倍にした点数が使用されます。

20.1.2 Technical Uniformity (技術的な均一性)

ヘッドジャッジは、各ジャッジ用に抽出された3つのカップの技術的な均一性を評価します。ヘッドジャッジは、コーヒーと水の比率、挽き具合、抽出器具とケトルの操作、ろ過材、時間、温度、攪拌を含む抽出プロセスの一貫性を評価します。0から3を4倍にした点数が採用されます。

20.2 Compulsory ヘッドジャッジスコアシート項目

20.2.1 Sensory Uniformity (味覚の均一性)

ヘッドジャッジは、Compulsory Service に各ジャッジに提供される3種類の飲料の Sensory Uniformity を評価します。ヘッドジャッジは提供された3つの飲料のサンプルをテイस्टィングし、アロマを除く味の項目が、時間の経過とともに3つの飲料間でどれほど一貫しているかを評価します。
提供された飲料のうち1つ以上が180ml未満である場合、ヘッドジャッジによる Sensory Uniformity のスコアは0点となります。

21. WBrC における嘆願

このセクションは WCC のみに適用されます。競技団体主催イベントにおける異議申し立て手続きについては、下記の「競技団体主催イベントにおける異議申し立て」セクションをご覧ください。

21.1 WCC におけるジャッジ/スコア記録の問題

スコア記録に関する質問には、競技者デブリーフィングにおいてジャッジチームが回答します。競技者がさらに質問をする場合は、ヘッドジャッジおよび/またはジャッジ・オペレーション・リード(JOL)に相談します。もし競技者が、解決されない間違いがあったと感じた場合、書面にて抗議することができます（下記のアピールの項を参照）。抗議は、ジャッジ・リーダー、WCC スタッフ、WCC 競技戦略委員会（CSC）によって検討され、WCC の代表が競技者にその決定を通知します。

万が一、ヘッドジャッジまたはその他の WBrC 関係者が、競技者の評価中に WBrC ジャッジによる不正行為の可能性を発見または疑った場合、以下のことが適用されます：

- ヘッドジャッジは、公式スコア記録係に該当するすべてのスコアシートの返却を要求します。
- ヘッドジャッジは、WBrC ジャッジ、WCC スタッフ、WCC CSC 委員長と面談し、状況を評価します。
- その後、WCC スタッフと WCC 委員長が非公開の会議で状況を評価します。
- 不正の問題が広範囲に及ぶ場合、WCC CSC 委員長はその WBrC ジャッジを今後 WBrC 公認大会でのジャッジから除外する裁定を下す権限を持ちます。

21.2 WCC におけるその他の問題

競技者が大会期間中に WBrC に関する問題（スケジュール、ロジスティクスなど）を抱えた場合、競技者はその場で WCC スタッフに連絡してください。WCC スタッフは、WBrC の現場で問題を解決するためにあらゆる努力をする。WCC スタッフは、すべての関係者に連絡を取ります。競技者の問題は議論され、WCC スタッフチー

ム、WCC JOL および/または WCC CSC が共同で決定する。WCC スタッフは、その決定を競技者に通知します。

21.3 WCC における嘆願

決定に同意できない場合は、WCC CSC に書面にて不服を申し立てることができます。委員会が下したすべての決定は最終的なものです。

嘆願書には、以下の内容を含めなければなりません：

- 名称
- 日付
- 明確かつ簡潔な苦情の内容
- 日時の参照（該当する場合）
- コメントと解決策の提案
- 関係者
- 連絡先

この情報が欠落している書面による異議申し立て／嘆願は審議の対象となりません。また、最終決定が下される前に、現在進行中の競技に関する嘆願の内容を公の場で議論した場合、その嘆願は却下されます。

21.4 WCC 競技戦略委員会による嘆願審査

WCC CSC は書面による苦情や嘆願を検討し、できるだけ早く回答するよう努めます。なお、最終的な解決は受領後 30 日以内に行います。WCC CSC は、最終的な裁定を電子メールにて文書で本人に連絡します。

22. 競技団体 イベント

22.1 競技会団体のための R&R 変更の強調点

以下は、競技団体に許可されたロジスティック調整のリストです。

- 現地の法律／規制の遵守：競技団体は、現地の法律および/または R&R に従うために必要な場合、国内 R&R を変更することができます。いかなる変更案も、事前に info@wcc.coffee に送付し、承認を得なければなりません。
- 競技 R&R 翻訳：競技団体はこの文書の翻訳を提供することができます。しかし、異議申し立てを解決するためには、WBrC 公式 R&R が使用されます。競技団体は、ジャッジおよび評価に関する R&R を変更することはできません。
- ラウンド／競技手順：競技団体大会および従属する下位大会（地域大会、予選会など）のみ：競技団体または競技会主催者の裁量により、大会は Compulsory Service のみで構成される 1 Round で開催することができます。競技団体大会（および下部大会）は、2 つの Round One Service を同時開催（2 組のジャッジを必要とする）、または連続して開催するかを選択することができます。
- 最小競技者数：最小競技者数：競技団体大会は、WCE 公認を受けた決勝大会の競技者数を 6 名以上としなければなりません。最少競技者数が 6 名に達しない場合、競技団体は予定されている大会の少なくとも 2 週間前までに、地域コミュニティ・ディレクターに連絡しなければなりません。
- 予選：競技団体は大会に先立ち、予選または予備大会を開催することができます。予選大会の構成は競技団体に任せられ、若干のフォーマット変更が可能です。決勝大会の構成を変更することはできませんが、決勝大会につながる予選または予備競技会に関してのみ、構成を変更することができます。予選／予備競技会には WCC レッパは必要ありません。決勝大会（Championship Event）では WCC レッパが必要となります。
- 練習時間：競技者の練習予定時間は、競技団体によって決定されます。ただし、すべての競技者は同じ練習時間を担保されなければなりません。
- 練習場所：練習場所は、ステージ上、舞台裏、会場外のいずれでも可能です。競技者の練習場所は、競技団体が決定します。
- ステーションの構成：競技団体大会および下位大会（地域競技会、予選会など）は、その競技会に適した競技ステーションの構成を利用することができます。
- 提供される設備：競技団体は、WCC 大会におけるのと同じスポンサー機器を使用する必要はありません。もし競技団体が機器スポンサーを獲得した場合、競技団体は独自に機器の要件を指定することができます。
- スコアシートの返却：競技団体は、スコアシートの現物を競技会場で競技者に返却してもよいし、競技終了後に競技者に電子メールで送付しても構いません。
- マイクと音楽：競技団体は、会場や利用可能な視聴覚機器に応じて、競技者に音楽を流したり、ワイヤレ

スマイクを装着させたりすることを許可してもよいですし、許可しなくても構いません。

- 競技者デブリーフィング：ジャッジは競技者とデブリーフィングの時間を持ちます。このデブリーフィングのスケジュールは 競技団体によって設定されます。デブリーフィングは、大会中および/または大会終了後に行われます。
- 競技者オリエンテーション：すべての競技者は、大会前に同じ情報を得るべきです。すべての競技者は、使用される機器、練習スケジュール、競技スケジュールなどを告知されなければなりません。

22.2 競技団体イベントにおける嘆願

もし競技者が大会中に 競技団体大会に関して問題や抗議がある場合、まずは大会主催者および/または会場にいる WCC レップに連絡を取ってください。すべての問題はできる限り早く解決されるよう試みられるべきです。その場での解決が最も効果的で適切です。大会終了後の異議申し立ては効果的な仲裁が難しくなります。

競技会主催者がその場で解決できると判断した場合、競技会主催者は公正な代表権を担保するために、関係者に連絡します。競技者の問題および/または抗議が検討され、大会主催者および指定された WCC 現地レップが共同で決定を下します。競技団体/競技会主催者および/または WCC レップは競技者に決定を通知します。

競技者が判定に不服がある場合、事件発生から 24 時間以内にウェブサイト (<https://wcc.coffee/rules-regulations>) にある苦情フォームを利用してください。不服申し立ては、直接競技団体および提出書類に記載された WCC レップに送られます。嘆願がロジスティクスに関するものである場合、競技団体は調査および仲裁（該当する場合）に全責任を負います。WCC レップは、嘆願を検討することを通じて、このプロセスに参加しなければなりません。ジャッジまたはルールに関連する嘆願の場合、WCC レップはその問題を調査し、仲裁案を競技団体に提示します。競技団体は常に不服に対して文書で回答する責任があり、競技団体イベントにおける不服の最初の窓口とみなされる。

競技団体と WCC レップは、すべての文書により嘆願を、受領後 24 時間以内に WCC スタッフに報告しなければなりません。ただし、WCC スタッフは競技団体のジャッジやボランティアを直接認定・管理するわけではないので、彼らの行為を仲裁することはできません。競技団体イベントからの嘆願については、対応にさらに時間がかかる場合があります。

23. 日本大会に関するルール

- A. ジャパンブリュワーズカップ JBrC2026 は WBrC2026 の R&R に則り開催されます。
- B. 日本大会において WBrC と違う部分は 22.3 以降の項目を参照してください。
- C. スコアシートは WBrC2026 スコアシートを使用し、記入時の言語は英語か日本語です。
- D. 予選スコアシートは決勝大会終了後に送付します。
- E. 予選・決勝大会では競技者本人の他に 1 名（サポーターまたはコーチ）のみサポーター登録が可能です。

23.1 参加資格

- A. 同一企業からの参加
 - ・ 予選大会参加者は 1 団体（グループ企業含む）から 1 名までとします。複数企業を掛け持ちしている場合、全ての企業がこのルールの対象となり、後日違反が発覚した場合、その企業の競技者全てを失格とします。
- B. ルール規約およびスコアシートの事前理解
 - ・ WBrC2026R&R が本大会のルールです。
 - ・ WBrC2026 のスコアシートを使用します。

23.2 コンフリクト

コンフリクトに関しては 1.4 項目通りとします。ただし WBrC の他に JBrC においても同様の扱いとします。コンフリクトの違反が判明した場合、その競技者は失格となります。

決勝大会に関してはコンフリクトがある場合、前日カリブレーションには参加できません。ただし、Compulsory 競技の審査は可能です（予選大会に参加していた場合）。

23.3 参加申込みと参加規約、条件

JBrC に参加する競技者は、以下の規約および条件に同意するものとみなします。

- A. 参加登希望者は SCAJ ホームページより参加登録を行ってください。参加登録料の入金確認をもって正式な参加登録とし、期日までに入金がない場合はキャンセル扱いとなります。
- B. ルール規約及びスコアシート、または JBrC に関して質問がある場合、SCAJ 競技会事務局宛に E メールで問い合わせること。（competition@scajconference.jp）
- C. 本競技に関して提出した書類等は返却されないこと。SCAJ が本競技の様態を写真、ビデオ、DVD 等に撮影した映像を SCAJ が自由に編集、複製及び改変し SCAJ の情報誌や広告に使用する他、印刷物、ビデオ、DVD として頒布および販売すること。さらに参加登録者はこれらの SCAJ の行為に対して異議を申し立てず、肖像権およびその他の権利を主張しないこと。また、JBrC 及び SCAJ が承認した団体（テレビ局、インターネットメディア、出版社等）が編集・放送・配信を行う場合、競技者が内容を確認し同意した場合に限り使用を許可すること。
- D. 申込者の情報（氏名、勤務先）が SCAJ の情報誌、広告に表示される他、本競技を収録し販売することがある DVD 等において表示されること。
- E. 申込者が参加申込書に記入した個人情報、本競技の審査資料として使用される他、SCAJ からのご案内送付のためにのみ利用し、個人情報のうち氏名、勤務先については、協会の情報誌、広告、本競技を収録した DVD 等、及び本競技の大会記録データとして使用します。

23.4 日本大会 大会概要

- A. JBrC は予選大会、決勝大会の 2 ラウンドで開催されます。
- B. 予選大会は Open Service のみで構成され 3 日間開催されます。3 日間の得点上位 6 名が決勝大会に進出します。
- C. 決勝大会は、Open Service と Compulsory Service の 2 つの競技で構成され、合計得点で順位を決めます。
- D. その他、運営上、WBrC の R&R と異なる箇所が発生する場合には、オリエンテーション等の場で共有します。

23.5 グライNDERの持ち込みに関して

グライNDERを持ち込む際には指定日に到着するよう会場に送付してください。持ち込みの場合、競技会が指定する日時に（競技日前日か前日オリエンテーション実施日）お持ち込みください。持ち込めるグライNDERに関しては WBrC2026R&R をご確認ください。

23.6 異議申し立て

本 R&R 22 項における WCC や WBrC の部分は JBrC と置き換えて適用します。

A. 21.1 項目にある JOL は JBrC では採用していません。

B. 21.2 項目以降の連絡先は (competition@scajconference.jp) となります。